

## 東海電子 飲酒運転撲滅へ講習 SAS・熱中症対策も



SAS検査の早期受診を呼び掛ける大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構の作本理事

東海電子(杉本一成社長、静岡県富士市)は12日、東京都で運送事業者向けの「飲酒運転撲滅&SAS(睡眠時無呼吸症候群)・熱中症対策セミナー」を開催した。

第1部では、腕に貼ってアルコールを分解できる体質かどうかを調べるジェルパッチを使い、出席者が自身の体質をチェックするとともに、クイズ形式でアルコールに関する知識を確認。東海電子の担当者が「寝酒による睡眠は脳がア

ルコールでマヒした状態。レム睡眠とノンレム睡眠の周期による正常な睡眠ではなく、熟睡できていない」と、寝酒の習慣化の危険性を説明した。

第2部では、特定非営利活動法人(NPO法人)大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構(武田裕理事)の作本貞子理事が、SASと熱中症をテーマに講演。「重大事故が起きてか

らドライバーのSASが判明するケースが多い。治療効果の上がらなかった生活習慣病の原因が、実はSASが原因だった」という例もある」と、SAS検査の早期受診を呼び掛けた。会場では、東海電子のアルコール検知器「ALCIPROII」「ALCimini」や、SAS治療機器の展示も行われた。

(吉田 英行)